

平成29年度宇部市芸術祭
感動と癒しの出会い～文化を次世代に～

第19回

宇部市民オーケストラ

クラシックの午後

指揮
高橋 敦



ピアノ
尾形 大介

2017年 9月3日(日)

開場/13:00 開演/14:00

宇部市渡辺翁記念会館



●主催

宇部市・宇部文化連盟

●主管

宇部市民オーケストラ

●協賛

宇部市民オーケストラ後援会、(財)渡辺翁記念文化協会、KRY山口放送、
読売新聞、宇部日报社、FMきらら、宇部好楽協会、宇部音楽鑑賞協会、
一般財団法人宇部市文化創造財団



山口県総合芸術文化祭 2017

◆プログラム◆

1. ムソルグスキー
交響詩「禿山の一夜」
二短調

2. チャイコフスキー
ピアノ協奏曲第1番
変ロ短調

3. チャイコフスキー
交響曲第1番
「冬の日の幻想」
ト短調

プロフィール

指揮 高橋 敦 たかはし あつし



1961年生まれ。56歳。ヴァイオリン奏者の父、声楽家の母の間に生まれるが、少年野球に没頭し、中学生まで野球部のキャプテンとして活躍。しかしモーリス・ジャンドロンのチェロの音色に魅せられてチェロを習い始める。チェロ奏者の叔父・高橋忠男の手ほどきを受けた後、馬場省一、堀江泰、千本博愛に支持し、1985年に北西ドイツ音楽アカデミー(デトモルト)に留学。カリーヌ・ゲオルギアン、ダヴィット・ゲリンガス、ヴォルフガング・ベトヒャー各氏に師事する。

1988年のドイツ・シュレスビヒ・ホルシュタイン国際音楽祭オーケストラに合格し、セルジュ・チェリビダッケ、レナード・バーンスタイン指揮のもとヨーロッパ演奏旅行に参加する。その間に両巨匠に多大な影響を受け、チェリビダッケとの交流を機に指揮を始める。1990年の第1回パシフィックミュージックフェスティバルに参加。帰国後は1992年にソロリサイタルの他、台湾の演奏家に招待され室内楽リサイタルを行うなどチェロ奏者として室内楽、オーケストラで活躍している。また、FMラジオ番組のパーソナリティー、さだまさしのコンサートツアーへの参加、TBS系のドラマ「砂の器」のオーケストラ演奏シーンの指揮者、フルート奏者山形由美のイタリア・ヴェネツィアでのCDレコーディングに指揮者として参加している(演奏はヴェネツィア室内合奏団)。

1992年からアマチュアオーケストラ/ジャパン・フレンドシップ・フィルハーモニックを主宰し音楽監督兼指揮者として活動する傍ら、2007年から東京海上グループ企業社員で構成される「東京海上フィルハーモニックオーケストラ(TEMPO)」の指揮者兼音楽顧問など日本各地のアマチュアオーケストラの指導にも力を入れている。10月放送のテレビ朝日帯ドラマ劇場「トットちゃん!」において帝都交響楽団常任指揮者・田之上晋一役として登場する傍ら、劇中音楽オーケストラ監修を担当している。

ピアノ 尾形 大介 おがた だいすけ



山口県出身。4歳よりピアノを始め、高校卒業まで徳万良子氏に師事する。県学生音楽コンクール入賞。武蔵野音楽大学・大学院にて竹内典子氏に学び、修了と同時にクロイツァー賞受賞。

リスト音楽院(ハンガリー)にてイエヌ・ヤンドー氏のもと研鑽を積み、満場一致の最優秀でディプロマ取得。その間、ハンガリー政府奨学生、文化庁芸術家海外研修員、伊藤国際教育交流財団奨学生として奨学金を授与される。その後、ヴェルトツブルク音楽大学(ドイツ)マイスタークラスにてアンドラーシュ・ハマリ氏に学び、ドイツ国家演奏家資格取得。

リスト国際ピアノコンクールセミファイナリスト、スタインウェイコンクール・ミュンヘン第2位、クレシェンド国際ピアノコンクール優勝、NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会奨励賞、第60回山口県芸術文化振興奨励賞など受賞多数。

これまでにドホナーニ交響楽団(パトリック・リンボルグ指揮)、マーヴ交響楽団(イムレ・コラル指揮)、ハンガリー室内管など様々なオーケストラと共演を重ねる一方、室内楽ではNHK交響楽団第一コンサートマスター篠崎史紀氏などと共演。ハンガリー国営放送「バルトーク・ラジオ」等にも出演。

2012年、東京オペラシティで開いたリサイタルが好評を博し、「生きた感覚のみごとな演奏。今後の活躍に期待(月刊ショパン・家永勝)」、「頭脳明晰、スケールの大きなピアニスト(Jazz Tokyo・伏谷佳代)」などと各誌で評された。現在は演奏活動を中心に、セルフプロデュースによる企画等でクラシック音楽の普及につとめる傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。

13 ムソルグスキー作曲

交響詩 「禿山の一夜」 二短調

「禿山の一夜」とは、ゴッリの戯曲「聖ヨハネ祭の夜の禿山」を音楽化したものです。「聖ヨハネ祭の前夜に不思議な出来事が起こる」というヨーロッパの言い伝えの一種、「聖ヨハネ祭前夜、禿山に地霊が現れ手下の魔物や幽霊、精霊たちと大騒ぎするが、夜明けとともに消え去っていく」というロシアの民話を基に作曲されています。魑魅魍魎の跳躍跋扈する夜の奇怪な迫力をお楽しみください。

なお、ムソルグスキーの原典版とリムスキー・コルサコフ版とあり、両者の違いは最後まで荒々しい魔物の祭が続くのか、はたまた、夜明けとともに魔物が消え去り、清々しい朝を迎えるのか、と大きく異なります。本日の演奏では、夜明けとともに清々しい朝を迎えることでしょう。

13 チャイコフスキー作曲

ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調

1875年、チャイコフスキー35歳の時に作曲され、チャイコフスキーの出世作となります。

冒頭部の魅力的なオーケストラのメロディーと華やかな独奏ピアノは、クラシックに縁がなかった方でも、きっとどこかで耳にしたことがあるはずですが、初演を依頼したニコライ・ルビンシテインからは酷評を受け、「演奏不可能だし、書き直すなら弾いても良いけど?」と言われてしまい、当初は初演さえ覚束なかったそうです。そのため、チャイコフスキーはハンス・フォン・ビューローに楽譜を送り、初演を依頼しました。

ビューローのこの曲に対する評価は高く、初演は大成功を収め、後にルビンシテインはチャイコフスキーに謝罪し、この曲を演奏会で取り上げ、世に広めることに一役買ったそうです。

第一楽章が全曲の半分以上を占めるほど長大であることも特徴ですが、良く耳にする印象的なメロディーは冒頭部のみであり、二度と再現されませんが、他にも随所に散りばめられた美しい旋律やピアノの華麗な技巧をお聞き逃しなく。

13 チャイコフスキー作曲

交響曲第1番「冬の日の幻想」 ト短調

チャイコフスキーが26歳の時に書いた最初の交響曲です。標題の「冬の日の幻想」は第1楽章に付けられた「冬の旅の幻想」というタイトルに由来します。チャイコフスキー自身によってつけられたタイトルは、この曲と第6番「悲愴」くらいなので、思い入れも随分あったのでしょうか、初めは周りに認められず、見直しを重ねて現在演奏されるのは1874年に改定された第3稿となります。

憂愁でいかにもロシアの冬の風景が浮かんでくるような曲調であり、いかにも寒い北風のような弦のトレモロから始まり、ロシアの民謡や民族舞曲を想わせるメロディーが次々と現れ、冬のロシアの大自然に対する郷土愛を歌います。



次回演奏会



創立20周年記念 第20回定期演奏会

日時／2018年3月4日(日)13時開場 14時開演

場所／宇部市渡辺翁記念会館

【曲目】ビゼー歌劇「カルメン」演奏会形式・抜粋

指揮	松下京介
カルメン	金子美香 (宇部市出身)
ドン・ホセ	村上公太
エスカミーリョ	河野克典 (山陽小野田出身)
ミカエラ	江口二美

宇部市民オーケストラ

役員・運営委員

団 長：栗林宏明	事務局：清水治子
副 団 長：濱野妙子	監 事：末永俊彦
名誉指揮者：十川真弓	楽 器：貞國泰子
顧問：上野明弘	楽 譜：佐貴政彰、大村康一郎
コンサートミストリス：安永 恵	会 計：浅海菜月
インスペクター：長谷部透、徳永 輝	中村香織、山本佐織
ステージマネージャー：山本 忍	厚 生：戸田紘平
	広 報：原田圭子

団 員

◎印コンサートマスター ○印パートリーダー

- ヴァイオリン ◎安永 恵 ○清水治子 池田芳江 金岡源浩 河村真理子 河内山愛子
坂西孝太 佐貴政彰 長岡 祥 縄田美言 長谷部 透 藤澤彩加 松井顕子
松野和江 三宅亜矢子 森 萌実 山口尚子(客演) 山下陽子(客演)
- ヴィオラ ○濱野妙子 浅海菜月 上野明弘 押部奈美子 木本崇史
飯田幸生(客演) 石森桂子(客演)
- チェロ ○藤野 緑 加藤由香里 栗林宏明 黒川明徳 佐伯真理子 濱村和幸
原田圭子 原田美沙 山本佐織
- コントラバス ○鈴川博之 弘中章司 藤野 隆 久保田尚(客演) 武富祐子(客演) 中村綾香(客演)
- フルート ○鈴木まさ子 高橋聖子 戸田紘平 村田恭子
- オーボエ ○宗國敦子 大道真徳 中村香織 薬師神知佳
- クラリネット ○大村真奈美 伊藤しおり 野崎美紀子
- ファゴット ○小林太郎 伊藤浩太
- トランペット ○藤井淳子 東川 剛 藤井晶宏
- ホルン ○澤本貴裕 奥原和彦 田村萌美 徳永 輝 戸田朝子 福田 誠
藤本弥恵 四方 睦
- トロンボーン ○山本 忍 大村康一郎 山本麻衣子
- チューバ 奥中淳夫(客演)
- パーカッション ○貞國泰子 川手艶子(客演) 富田音々(客演) 矢内陽子(客演)
- トレーナー 植木 章(元新日本フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者)
原田大志(元札幌交響楽団コンサートマスター・福岡教育大学准教授)

◆ 賛助会員 ◆

浅山眼科・東良輝・安部研一・在田淳一郎・在田和子・有田千代子・安楽晴義・上田肇・宇部マテリアルズ(株)・(株)ウベモク・枝廣可奈子・大谷将治・(有)おおの・加藤紘・兼安英乗・川戸範雄・神吉ゆかり・共立工業株式会社二木敏夫・(有)きわなみ薬局・国重一彦・久保田隆昌・黒川康弘・黒田恵美子・近藤実葉・西京銀行 宇部支店・酒田三男・佐藤育男・佐藤節子・佐藤クリニック・島袋智之・清水芳幸・正下文字・白石千代・末富一臣・末富秀史・末永俊彦・末山哲英・鈴木紘子・瀬戸信夫・第一歯科診療所・高井仁・高田千弘・竹藤二郎・田中聖児・田中忠義・田中文代・千葉泰久・徳久常子・トモ工業局・中澤晶子・中島淳子・中島美代子・永谷忠・名和田敏子・名和田洋二・西村公一・のむら大腸肛門クリニック・羽佐間温子・花田正子・東谷和夫・ビューティマリネロ・平田淳・福田進太郎・福本嘉代美・藤井輝夫・フジイ内科医院・藤川三郎・藤田敏彦(富士商(株))・松岡整形外科・松田昌子・三隅洋子・光井一彦・湊典子・御馬舎裕子・森重整形外科・森田純一・守田孝恵・森本浩・柳井秀雄・山切睦彦・山口アポロガス塔野仁三郎・山田洋子・山原憲子・山村恭子・山本礼子・吉井純起・よしくに・吉永外科医院・吉本賢良・脇和也

特別協賛

株式会社
丸 久



フレッシュ&ハート

中央7-ド